



# 西村クリニック便り 第131号



← 当院のライン公式アカウントです  
不定期ですが楽しいラインも配信中です

発行元  
西村クリニック  
四條畷市楠公 1-14-6  
072-862-3001

今月も先月号に続き、私の友人のイサオ（130）さんから頂きました原稿を掲載させていただきます。ご本人は今もボーイスカウトの責任者や地域の役員としても大活躍されています。

インフルエンザ、新型コロナウイルス  
予防接種は同日接種が可能です

第2次大戦中、激戦の南洋諸島のある島でのお話。重傷を負った1人の米兵が倒れていました。そこへ剣付きの銃を持った日本兵が通りかかります。気付いた米兵は「あっ、殺される」と思った瞬間、気を失ってしまいました。しばらくして目覚めた米兵。もう日本兵はいませんでした。そばに落ちていた白い紙切れに気付き何気なくポケットに入れます。その米兵は野戦病院に担ぎ込まれ一命を取りとめました。その時拾った紙切れにはこんなことが書かれていました。

“君を刺そうとした時、君はぼくに三指の礼をした。ぼくもボーイスカウトだった。ボーイスカウトは兄弟だ。君もぼくも兄弟だ。それに戦闘力を失ったものを殺すことは許されない。傷には包帯をしておいたよ。グッドラック”

終戦後、この米兵は米国のボーイスカウト連盟本部を訪ね、この話を伝えました。1952年に米国のスカウト本部の役員が来日した際この話を日本側に伝えましたが米兵は本名を明かしていません。日本兵は激戦地で戦死したようです。無名のスカウト戦士間のできごとです。この無名の日本兵の行動こそ日本の武士道精神、スカウト精神の結晶なのです。



三指の礼とは、人差し指、中指、薬指だけを伸ばした世界共通のボーイスカウトの敬礼の仕方です。世界中のスカウトが共通して使っている独特のあいさつの方法です。戦争の愚かさ、敵味方を超えた友情の気高さを若いスカウト語り継ぎたいと当時の日本連盟の理事長らが中心となり募金を集めて横浜のこどもの国に「無名戦士の記念碑」が建てられました。

米兵の三指の礼に応える日本兵

行楽の秋を楽しみたいですが最近“熊”の出没が多く他人事ではないような雰囲気です。もし熊に会ってしまったら・・・まずは冷静に熊から目を背けず熊と目を合わせたまま後退していきながら距離をとっていくのが良いそうです。また熊が立ち上がったとしてもそれは熊が興味を示しているだけで攻撃のサインではないそうです。熊が耳を伏せているのが危険信号とのことです。そんな時に冷静になれるのでしょうか(-.-)また最近我が家のガレージに子連れ?の3匹のアライグマが出没します。アライグマも凶暴とのこと。可愛い風貌ではありますが熊です。玄関でアライグマに遭遇したときも本当に恐怖です。(-.-)気をつけましょう。

皆様は“リボ払い”というシステムを御存知ですか？ネットでも批判が多数でありますがそれはそれは恐ろしいものです。勝手にリボ払いになり知らぬ間に負債となるシステムです。明細を各自の責任で確認しないとリボ払いに回った金額もわからないです。たとえば毎月の支払い枠を2万と決めるとします。2万は毎月の支払いとなり(カードで支払いになっているとしているのなら)その上に電気代などのカードでの支払いがプラスされます。しかしそれ以上の支払いがあったとしたら残金は勝手にリボ払いに組み込まれ支払いできていない負債となります。その残金の知らせはこないのだから払えてないのもわかりません。またリボ払いについては金利が15%などと高利です。金利に金利がつきどどんりリボ払いという支払いできていないものが増えているのです。ネットで検索してもらえば分かりますが例えばある携帯会社のリボ払いの初期設定は190万です。190万までは勝手にどどんりリボ払いになり負債になっています。リボ払いの設定は増やしても減らせない場合も多いです。今更ながら色々な明細を隅々まで読み熟知するように努めています。

## 編集後記

当院では市の健康診断と同日に

肺がん、大腸がん健診も

受けていただけます

大腸がん健診は容器を持って帰っていただくものです

